

## なりたの森あそび体験

### 秋の森であそぼう

晝間初枝（四街道市）

日 時：2024年11月20日（水）9:30～11:20 天気：雨

場 所：成田市立大栄みらい学園

参加者：大栄みらい学園1年生52名、教員4名、成田市農政課2名、ちば里山センター1名

担当指導員：金子、尾澤、莊子、晝間、横山、渡辺（幸）

室内での実施になったが十分秋を体感、楽しい活動になるように広いアリーナの中に6つの落ち葉の山を作つて、児童を待つた。雨に備えて、ここ数日間、落ち葉とドングリをたっぷり集めておいたことが功を奏した。52名の元気な1年生とあいさつを交わした後、体操をして6つのグループに分かれ、森遊びが始まった。

○「じゃんけん落ち葉拾い」…まず森遊びウォーミングアップ。じゃんけんに勝つたら、気に入った落ち葉を拾う。相手を変えながらじゃんけん、元気な声が響き渡り、和やかな雰囲気になった。

○「葉っぱじゃんけん」…「赤い葉っぱ・」「大きい葉っぱ・」「ちくちく葉っぱ…」誰が一番かな？みんなで夢中になって遊んだ。

○「落ち葉遊び」…落ち葉の山から両手で抱えきれないほどの葉っぱを運んでおえかき。ウサギやネコ、車にハート…思い思いにシートの上で描き上げていく。落ち葉を山に戻して、曲がりくねった道や高い山を作つて歩いたり飛ぶ越したり、トンネルを作つてお友達と手つなぎ「この手だあれ？」落ち葉を飛ばしたり、もぐったり、広いアリーナいっぱいに歓声が響き渡つた。これほど落ち葉と遊ぶことはないだろう。

○「落ち葉のモビール」…たくさん遊んだ後は、「葉っぱのモビールを飾つて秋の森にしようね」と投げかける。糸に葉っぱをつけたものを2本作つて枝につけ、その枝に糸を結んでバランスをとるとモビールが完成。アリーナを横断するロープに52名、全員が取りつけると色とりどりの葉やドングリが揺れる秋の森になった。

（休憩）

○「ドングリごま」…好きなドングリを選んでこま作り。ヤスリでこすり、子葉が見えたら楊枝をさし込む。みんな回し方が上手！自慢したり競争したり大いに盛り上がつた。

○「ドングリの木のお話」…「ドングリの木」のお話シートを見せながら、リスが隠し忘れたドングリの

ゆくえについて考えた。芽が出て大きくなつたドングリがなつて…木の循環について学んだ。

終わりの会では、一斉に「楽しかつた！」「また一緒に遊びたい」興奮冷めやらぬ中、森遊びを無事終えた。



葉っぱじゃんけん

